

EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries

EFAFF2004 (第5回 農林水産環境展)

「人と自然との共生を目指して」をテーマに

2004年11月24日(水)から26日(金)の3日間、

日本コンベンションセンター(幕張メッセ)にて開催

農林水産環境展実行委員会(委員長:今村 奈良臣 東京大学 名誉教授)は、2004年11月24日(水)~26日(金)の3日間、日本コンベンションセンター(幕張メッセ)において『EFAFF2004 (第5回 農林水産環境展)』を開催します。

本展示会は「人と自然との共生を目指して」をテーマに今年で5回目を迎え、環境保全を目的とした農業、畜産業、林業、水産業、食品工業、および農村振興の各分野での様々な取り組みを紹介する展示を行っており、関係各方面から高い評価を得ていると同時に、来場者数も年々着実に増加しています。昨年に引き続き、出展者と来場者を的確に結びつけることができるよう「集落排水」、「畜産環境」、「有機資源」、「間伐材」、「海岸水産環境」、「環境保全型農業」、さらに本年は新規に一般からの関心も高い「食品環境・安全」を追加し、7分野のそれぞれ独立した“フェア”の集合体として開催します。

2002年12月に農林水産省、環境省を始めとする5省の連携によって、地球温暖化の防止や循環化社会の形成を目指した「バイオマス・ニッポン総合戦略」に基づき、石油・石炭等の化石資源に代わる新しいエネルギー資源として注目されている「バイオマス(有機性資源)」の利活用に関する取り組みや技術・製品の展示を行います。さらに、「バイオプロセス実用化開発事業R&Dコンソーシアム」主催による「バイオマスプラスチック体験コーナー」を設けます。ここでは、「愛・地球博(愛知万博)」で使用されるバイオマスプラスチック製の食品容器を一早く体験できます。

また、併催催事の「第5回農林水産環境シンポジウム」においては、バイオマス利活用の今後の方向性を考える「エネルギー事情から考える、バイオマス利活用の今後の方向性」と題した基調講演プログラムを予定しております。『EFAFF2004 (第5回農林水産環境展)』は、このような展示やシンポジウムプログラムを通じ、「バイオマス・ニッポン」実現に向けた活動を支援します。

その他、近年の食中毒事故やBSE等による食品の安全や衛生への関心の高まりの中、初めて開催する「食品環境・安全」フェアや、本年11月に本格稼働される「家畜排泄物」により家畜糞尿処理装置などへの関心も高まる「畜産環境」フェア等、環境をテーマにした様々な展示・発表を行います。

『EFAFF2004』開催概要

- ◆ 名称 : EFAFF2004 (第5回農林水産環境展)
EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries
- ◆ 開催日 : 2004年11月24日(水)～26日(金) 10時～17時(最終日のみ16時まで)
- ◆ 会場 : 日本コンベンションセンター(幕張メッセ)国際展示場 展示ホール7
(千葉市美浜区中瀬2-1 TEL:043-296-0001)
- ◆ 主催 : 農林水産環境展実行委員会
委員長 東京大学
委員 (財)農業技術協会
(社)地域資源循環技術センター
(旧 日本農業集落排水協会)
(財)畜産環境整備機構
全国森林組合連合会
(社)海と渚環境美化推進機構
(社)日本有機資源協会
事務局 (株)環境新聞社
- 名誉教授 今村 奈良臣
会長 貝沼 圭二
理事長 黒澤 正敬
理事長 本田 浩次
代表理事会長 飯塚 昌男
理事長 植村 正治
会長 熊澤 喜久雄
社長 波田 幸夫
- ◆ テーマ : 人と自然との共生を目指して
- ◆ 後援 : 農林水産省/環境省/国土交通省/経済産業省/全国知事会/全国市長会/全国町村会/千葉県/社団法人千葉県商工会議所連合会/千葉商工会議所
- ◆ 入場料 : 一般 1,000円/学生 500円(高校・大学)/団体 800円(10名以上)
- ◆ 同時開催: ウェステック2004(主催:ウェステック実行委員会)(11/23～26)
河川環境展2004(主催:河川環境展実行委員会)(11/23～26)

EFAFF2004 展示フェア分野

EFAFF2004(第5回農林水産環境展)						
集落排水フェア	畜産環境フェア	有機資源フェア	間伐材フェア	海岸水産環境フェア	環境保全型農業フェア	食品環境・安全フェア
汚水処理設備・装置	バイオガスエネルギー利用	コンポスト化装置	木材炭化装置	水産加工場廃水処理装置	無農薬・減農薬栽培	トレーサビリティシステム
汚泥リサイクル化設備・装置	メタン醗酵装置	生分解性プラスチック	チップの有効利用	低質・水質改善剤	有機栽培	HACCP関係
消毒装置	家畜糞尿処理装置	脱臭装置	間伐材の有効利用製品	殺菌装置	微生物農薬・資材	洗浄・消毒
他	他	他	他	他	他	他

特別企画コーナーのご案内

◆ バイオマスプラスチック体験コーナー

【主催：バイオプロセス実用化開発事業R&Dコンソーシアム】

2005年日本国際博覧会「愛・地球博」（愛知万博）のパートナーシップ事業の一環として、「愛・地球博」において使用されるバイオマスプラスチック食品容器を、「愛・地球博」開催に先駆けて『EFAFF2004』展示会場内食堂でも使用いたします。また、バイオマスプラスチックのPRコーナーもあります。

◆ グリーンプラコーナー 【主催：生分解性プラスチック研究会】

“グリーンプラ認証マーク”を取得した各種グリーンプラ*製品を各社が展示します。

*グリーンプラ：自然環境において微生物が作用し、低分子化合物に分解される生分解性プラスチック

◆ 間伐・間伐材利用コンクール作品展示 【協賛：全国森林組合連合会】

国土や水環境の保全、地球温暖化の防止のために森林の多様な役割を発揮するためには、間伐の推進が重要です。また「グリーン購入」の観点からも「間伐材利用製品」に対する関心が高まっています。当コーナーにおいて「間伐・間伐材利用コンクール（主催：間伐材推進中央協議会）」に応募された、間伐材利用のアイデア製品を中心に展示します。

◆ 食品リサイクルコーナー 【主催：食品リサイクル機器連絡協議会】

食品リサイクル機器連絡協議会の会員社による、業務用生ゴミ処理機の展示です。

◆ 食品安全ネットワークコーナー 【主催：食品安全ネットワーク】

食の安全や衛生への関心が高まる中、食品安全ネットワークの会員社による、関連機器やシステムを展示・紹介します。

◆ NPO・NGO交流コーナー

人と農山漁村との共存を目指し、農林水産における環境保全を実現するには、機器・装置メーカーによる設備の導入による対策だけでなく、NGOやNPOなどの草の根的な団体や研究グループによる取り組みが欠かせません。企業による機器や技術の展示だけではなく、農林水産業の環境保全分野で地に根ざした活動を行う団体の方々のPRと情報交換の場を設けます。

◆ 大学展示コーナー

農林水産環境の分野では、バイオマスの利活用といった、産業と大学が一体となった研究開発の取り組みが重要になってきております。そのため本年度は、農林水産業関係の各大学での環境保全に関する研究などの成果を紹介すると共に、研究者と来場される方々との交流や情報交換をする場を設置します。

【併催催事】第5回農林水産環境シンポジウム

＜主 催＞ 農林水産環境展実行委員会

＜開催日＞ 2004年11月24日（水）～26日（金）

＜会 場＞ 日本コンベンションセンター（幕張メッセ）国際会議場

月 日	会 場	プログラム
11/24 (水)	302会議室 (13時～17時)	「有機性資源循環利用グリーンフォーラム～環境保全型農業の新展開と畜産環境対策～」 主催：（社）日本有機資源協会
	304会議室 (10時～12時)	「農畜水産が一体となった環境保全～海からのメッセージ～」 主催：社団法人海と渚環境美化推進機構
11/25 (木)	コンベンションホールB (10時～16時30分)	「自治体発、環境保全を重視した農業推進施策の新たな潮流～平成16年度持続性の高い農業生産方式に関する技術研修会～」 主催：全国環境保全型農業推進会議（事務局：農林水産省、全国農業協同組合中央会、日本生活協同組合連合会）
	302会議室 (13時～16時)	「家畜ふんたい肥で地力向上～地目別たい肥施用の実際と土壌保全からみた評価～」 主催：農林水産環境展実行委員会
11/26 (金)	国際会議室 (10時～16時10分)	「循環型社会の形成に向けた研究の最前線～平成16年度農業土木学会資源循環研究部会 研究発表～」 主催：（社）農業土木学会 資源循環研究会
	201会議室 (10時～16時)	「エネルギー事情から考える、バイオマス利活用の今後の方向性」 主催：農林水産環境展実行委員会
	302会議室 (13時～17時)	「食の安全・安心システムを考える最前線！～食品安全ネットワークセミナー～」 主催：食品安全ネットワーク
	202会議室 (10時～17時)	「屋上緑化でヒートアイランドを解消！～第9回屋上緑化公開セミナー～」 主催：屋上緑化普及協議会

本件に関するお問い合わせ

「農林水産環境展実行委員会事務局」

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル 株式会社 環境新聞社 事業部

TEL：03-3359-5349 FAX：03-3359-7250

E-mail: efaff@kankyo-news.co.jp

URL=http://www.emn.jp/efaff/